# 「基礎から学ぶ、PAPとPLP」研修会　　　～口腔内装置の活用～

皆さん、PAPやPLPを臨床で使っていますか？これらは、口腔内の運動や感覚が低下した患者さんのリハビリテーションに活用することができますが、実際に使用されている方は少ないかと思います。今回は、これらの口腔内装置の研修会を開催致します。ぜひ、ご参加下さい。

講師：小野高裕先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野　教授）

　　　熊倉勇美先生（千里リハビリテーション病院　顧問）

日時：令和２年３月２２日（日）

　13:00～13:30 受付

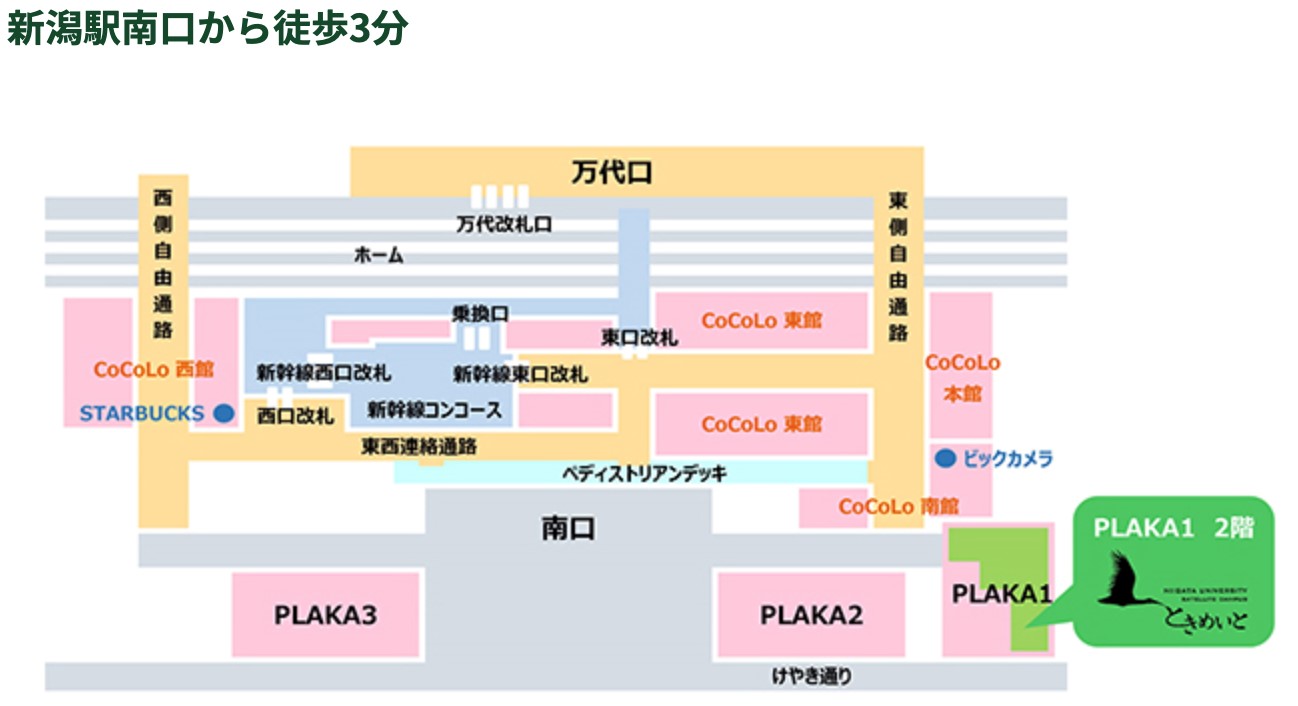
　13:30～15:00講演① 小野高裕先生「リハで役立つ口腔内装置の基礎知識」

　＜休憩＞

　15:10～16:40講演② 熊倉勇美先生「臨床の現場から」

会場：駅南キャンパスときめいと

　　　〒950-0911　新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーカ1・2階



費用：無料

主催　（一社）新潟県歯科医師会　　（一社）新潟県言語聴覚士会

　　　　歯科関連STの集い

「基礎から学ぶ、PAPとPLP」

〜リハにおける口腔内装置の活用〜

主催：新潟県歯科医師会、新潟県言語聴覚士会、歯科関連STの会

講師：小野高裕（新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野　教授）

熊倉勇美（千里リハビリテーション病院　顧問）

日時：令和2年3月22日（日）13:00〜16:30

会場：新潟大学駅南キャンパスときめいと

（〒950-0911　新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーカ1・2階）

（紹介文）

　オーラルフレイルの概念や口腔機能低下症の保険導入により、「食べる」「話す」と言う機能への取り組みが重要視されています。今、高齢者のリハビリテーション（リハ）の現場で普及が期待されているのが、義歯やPAP, PLPなどの「口腔内装置」です。こうした歯科の専門技術を、リハの現場に導入することで、患者さんの咀嚼・嚥下・構音機能をより改善し、QOL回復に貢献することができます。

　今回のセミナーは、地域における歯科医療とリハビリテーション医療との連携を促進するために、歯科職種（歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士）と言語聴覚士が共通して学べる機会として企画しました。「PAPってなんだろう？どうやって作るんだろう？」と言う歯科職種の方、「義歯が合ってない時やPAPを試したい時に、歯科の先生にどうやって頼んだらいいのかな？」と悩んでいる言語聴覚士の方、どうぞふるってご参加下さい。